



コミュニティー講座 (PTAもちつき)

南知多町立内海中学校だより

H29 12月号

# あけゆく空

～ 言葉と笑顔が輝く学校 ～

最新の情報は、学校 HP  
「ようこそ内海中へ」を  
ご覧ください。

11月に入り、本校ではキャリア教育の一環として、1・2年生は高校や職場見学、3年生は進路説明会を行いました。また、夢の実現に向かって進む生徒が、安心して学校生活を送れるよう、いじめアンケートや教育相談を進めています。今回は、「いじめ対策」と学校・地域での温かいふれあいの活動を紹介します。

月	火	水	木	金	土	日
11 / 27 期末テスト 火災避難訓練④  家庭でもご用心	28 期末テスト あいさつ運動	29 期末テスト 学校保健委員会⑥	30 ALT	12 / 1 食に関する指導 ④(2A)⑤(3A) 交通安全県民運動 (~12/10)	2 県市町村対抗駅伝 (愛知駅伝)	3
4 朝会	5 文化芸術育成 事業(邦楽) ⑤⑥	6 保護者・地域の皆様も、観覧できます。	7 委員会 長距離走大会 ⑤⑥ 保護者の皆様の応援もぜひ...	8 長距離走大会予備日	9	10
11 キャリア教育講演会⑤ 学費振替	12 演題「ホメホメワーク」	13 45分授業 個人懇談会	14 45分授業 個人懇談会 ALT 来校	15 45分授業 個人懇談会	16 限られた時間となりますが、 よろしくお願いいたします	17
18	19	20 通学団会	21 給食終了	22 終業式	23 冬季休業 天皇誕生日	24 (~1/8)
25 ウインタースクール	26 ウインタースクール	27	28 年末・年始休業 (~1/3)	29	30	31 大晦日

### 「いじみやき」の責任

日本社会全体で、いじめ問題が深刻化しています。これまでも、力関係による歪みは存在していましたが、今回の問題が深刻なのは、見えにくい点で、原因として考えられます。中高生の場合、学校の先生はもちろん、子どもにも最も身近な存在である保護者でさえ、子どもの SOS に気づけずに、事態が深刻化してから、「犯人捜し」をすることが繰り返されています。

「いじめ防止対策基本法」が施行されてから、児童生徒のいじめは、法に触れる行為となりました。多くの「加害者」は、その行為を深刻にとらえず、「そんなつもりはなかった」と異口同音に答えます。こうした問題が潜在化する背景に、現在はびこるいじめ行為は、SNS を利用した軽いノリの「つぶやき」の影響が上げられます。この「つぶやき」によって、頭を横切った言葉が、すぐに「公開」されてしまいます。

SNS に依存する子どもは、ブレキの壊れた自転車に乗っているようなものです。生きにくい社会に生きる子どもたちを、被害者にも加害者にもしない教育が、学校と家庭に求められています。

## 第2回学校公開日～授業参観&3年生進路説明会～

11月8日（水）、本年度2回目の学校公開を実施しました。保護者の皆様がより参観しやすいように5・6時間目を「授業参観」時間とし、3年生を対象に「進路説明会」も設定しました。雨天にもかかわらず、多くの保護者の皆様のご参加をいただきました。進路説明会では、例年本校では受験者が一番多い日本福祉大学付属高校の先生を講師に、生徒・希望保護者を対象に「私立高校ガイダンス」も行いました。「自分で進路を切り拓く」意識を高めた3年生の目が、キラキラしていました。



グループで高め合う（1年社会科）



バスケットボール（2年体育科）



進路説明会（3年生・保護者対象）

## 第2回コミュニティー講座開催～地域の先生たちに学ぶ～

\*今回も生徒の希望にそって10講座を開催。その一部を紹介します(すべての講座を紹介できずに残念)。



クリスマスリースづくり



天然石プレスレッドづくり



和太鼓「内中DONDOKO」



砂時計づくり

## 「第30回記念 家推会ふれあいハイキング大会」

\*記念大会として、スタンプラリー形式の史跡巡りを企画。新しいふれあいの場のスタートとなりました。



内海小学校が発着地点



史跡巡り「内田佐七家」



班でスタンプラリー



ゆるキャラ登場（ゲーム大会）

**<内中生 平成29年度第2回いじめアンケート（無記名）調査の結果より>** \*11月初旬各学級で実施

「私は、いじめを受けている」と答えた生徒が、全校で4名。「私は、いじめをしている」と答えた生徒が全校で2名という結果でした。1学期の調査と比較して、数値は横ばいの状態です。潮祭等の行事では、結束した姿を見せてくれましたが、準備期間にはいろいろな悩みや意見の対立もありました。また、1・2年生の部活動では、技能向上や大会結果の受け止めに個人差があり、思春期の不安定さ等も加わって、心労が重なる生徒もみられます。いじめとは捉えていませんが、「遊び半分でたたく、蹴る」「ひやかし・からかい」を受けた生徒も10名以上おり、前回と比較し横ばいの状態です。

「する側でなく、される側が、どう感じているか」で判断するといういじめの基準を再確認し、相手の気持ちを推し量って、自らの行動を振り返ることの大切さを、継続して問いかけていきたいと思います。(11/13 全校朝会)

**<赤い羽根共同募金報告>**

今回の募金活動で、6,556円集まりました。ご協力ありがとうございました。(生徒会)